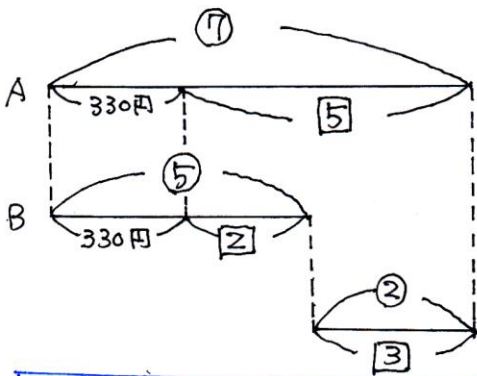


必修例題 3 倍数算

(1) AとBの所持金の比は7:5でしたが、2人とも330円使ったので、AとBの所持金の比は5:2になりました。Aの最初の所持金は何円でしたか。

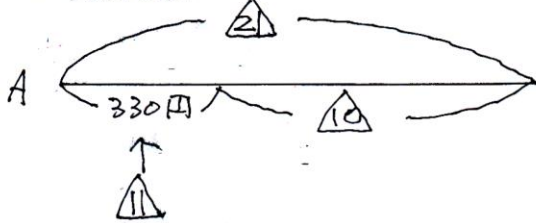
(2) はじめ、兄と弟の持っているカードの枚数の比は4:1でしたが、兄は3枚なくしてしまい、弟は友達から8枚もらったので、兄と弟の持っているカードの枚数の比は5:3になりました。はじめ、兄が持っていたカードは何枚ですか。

(1) 2人共同じ金額を使ったので、2人の金額の差は変わらない。
 ↓
 差が一定



$② = ③$
 $② \times 3, ③ \times 2$ で長さを最小公倍数の6にそろえます。

Aの線分図で



△は330円なので

△は $(330 \div 11) = 30$ 円

△は $30 \times 21 = 630$ (円) → Aの最初の所持金

(2) はじめに $\left(\begin{smallmatrix} \text{それだけ} \\ \text{が} \end{smallmatrix} \right)$ 持っていた枚数を $\left(\begin{smallmatrix} \text{兄} \\ \downarrow \\ \text{4枚} \end{smallmatrix} \right)$ 枚
 ①枚として、その比を比例式をつくり出す。

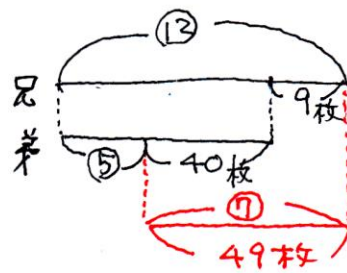
兄 ... $④ - 3$ (枚) → 5
 弟 ... $① + 8$ (枚) → 3

$$(④ - 3) : (① + 8) = 5 : 3$$

外×外 = 内×内

$$(④ - 3) \times 3 = (① + 8) \times 5$$

$$⑫ - 9 = ⑤ + 40$$



⑦が49枚なので、
 ①は $(49 \div 7) = 7$ 枚

兄は ④なので、
 $7 \times 4 = 28$ (枚)

28枚

630円